

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザイン I		(NKT13P)
講義名 (コード)	キャリアデザイン I A		(NKT13PA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	・自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ (インターンシップ含む)
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢 ・基本的に授業の前半にインプット、後半は学生自身で調べたり考えたり、発表する時間を設ける。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業内容を理解し、主体的に取り組む必要性を知ることができるようになる	【オリエンテーション】講師自己紹介、前期の内容について説明、教材配布 【演習】学生による自己紹介、キャリア面談表の記入
2	基本的なビジネスマナーを理解できるようになる	【ビジネスマナー】社会人に必要とされるマナーについての理解、非言語コミュニケーション 【演習】学生同士で学んだことを練習
3	就職活動スケジュールが理解できるようになる	【就職活動スケジュールと進め方】就職事情について 【演習】就活計画の検討と作成
4	キャリアについて理解できるようになる	【キャリアについて】キャリア意識、マインド、社会人基礎力について 【演習】自分が考える「キャリア」について発表
5	自分の強みを発見し、認識できるようになる	【強みの発見】人生曲線の説明 【演習】人生曲線の記入と強みの理解
6	自己分析し、自分史をまとめることができるようになる	【自己分析】自分史/長所の確認 【演習】自分史の作成、分析
7	他人の紹介ができるようになる	【他己紹介】ジョハリの窓/友達の長所発見 【演習】友達の長所記入、発表（2分/人）
8	自分の特性を知ることができる	【コンピテンシー】コンピテンシーとは 【演習】自身のコンピテンシーについて記入
9	自己PR書の作成ができるようになる	【自己PR】自己紹介、長所、他者から見た自分の良いところを活用 【演習】自己PR文作成、発表（2分/人）
10	筆記試験について理解できるようになる	【筆記試験対策】筆記試験の種類 【演習】筆記試験の問題を解く
11	インターンシップについて理解することができるようになる	【インターンシップ】インターンシップとは、企業への連絡、電話の方法 【演習】インターンシップを実施している企業の検索
12	与えられた課題についてグループディスカッションができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
13	チームで発表ができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
14	前期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【前期試験フィードバック】試験のフィードバック、前期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザイン I		(NKT13P)
講義名 (コード)	キャリアデザイン IH		(NKT13PH)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	・自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。
全体の内容と概要	・講義と演習により、面接へ向けて実践的なマナーやスキル、履歴書の記入方法を習得する。
授業時間外の学修	・自身の興味のある企業に関するリサーチ (インターンシップ含む)
履修上の注意事項等	・主体性をもって、授業に取り組む姿勢 ・基本的に授業の前半にインプット、後半は学生自身で調べたり考えたり、発表する時間を設ける。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業内容を理解し、主体的に取り組む必要性を知ることができるようになる	【オリエンテーション】講師自己紹介、前期の内容について説明、教材配布 【演習】学生による自己紹介、キャリア面談表の記入
2	基本的なビジネスマナーを理解できるようになる	【ビジネスマナー】社会人に必要とされるマナーについての理解、非言語コミュニケーション 【演習】学生同士で学んだことを練習
3	就職活動スケジュールが理解できるようになる	【就職活動スケジュールと進め方】就職事情について 【演習】就活計画の検討と作成
4	キャリアについて理解できるようになる	【キャリアについて】キャリア意識、マインド、社会人基礎力について 【演習】自分が考える「キャリア」について発表
5	自分の強みを発見し、認識できるようになる	【強みの発見】人生曲線の説明 【演習】人生曲線の記入と強みの理解
6	自己分析し、まとめることができるようになる	【自己分析】長所の確認 【演習】自身の長所について、他者にシェア
7	他者の紹介ができるようになる	【他己紹介】友達の長所発見 【演習】友達の長所記入、発表（2分/人）
8	自分の特性を知ることができる	【コンピテンシー】コンピテンシーとは 【演習】自身のコンピテンシーについて記入
9	自己PR書の作成ができるようになる	【自己PR】自己紹介、長所、他者から見た自分の良いところを活用 【演習】自己PR文作成、発表（2分/人）
10	筆記試験について理解できるようになる	【筆記試験対策】筆記試験の種類 【演習】筆記試験の問題を解く
11	インターンシップについて理解することができるようになる	【インターンシップ】インターンシップとは、企業への連絡、電話の方法 【演習】インターンシップを実施している企業の検索
12	与えられた課題についてグループディスカッションができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
13	チームで発表ができるようになる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいこと、そのビジネス手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
14	前期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック・まとめ	【前期試験フィードバック】試験のフィードバック、前期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本能率協会マネジメントセンター「専門学校生のための就職内定 基本テキスト
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	パソコン検定対策 I		(NGM10K)
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティング IH		(NKT13LH)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Windows11でのパソコン操作、Microsoft Office2021の基礎を習得する 基本的なビジネス文書の作成、プレゼンテーション資料の作成ができる
全体的内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	操作環境がない学生がほとんどだと思いますので、メニューの操作方法、文章の構成など テキストや授業時配布されたプリントで復習してください
履修上の注意事項等	資格取得の意欲のある学生には、資格試験（MOS・日商PC検定）の練習もおこなっていきます

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Windowsの基本操作ができる タッチタイピングを覚える	教室の使い方、注意、システムの説明・Windows11の基本操作 タイピングソフトを利用したタイピング練習
2	Wordを起動し保存・終了・文字入力の基本操作ができる	Wordの基礎・文字入力（ファンクションキー変換・IMEの使用・記号の入力） 短文入力
3	Word ページ設定・編集機能の利用ができる	ページ設定・編集機能 複写・削除・移動の利用
4	PowerPointの基礎操作ができる	PowerPointの概要、起動、新規作成、画面構成確認、入力、保存 （スライドの挿入、箇条書き、図形の挿入、表作成、図の挿入）
5	PowerPoint スライド、挿入した オブジェクトの編集ができる	書式設定、箇条書きの変更、図形の変更、表の編集、図の編集
6	PowerPoint スライドショーの実行 ブラッシュアップ機能が操作できる	テーマ、アニメーション、スライドショー、スライドの印刷設定 スライドマスターを使ったテンプレートの変更方法
7	Word 社内・社外文書を理解し 表の作成・編集ができる	ビジネス文書（社内文書・社外文書）の入力 配置・箇条書き・フォントの変更・表の作成・編集
8	Word 表の入った文書を作成できる 表の編集ができる	例題文書作成→書式の変更（社内文書の配置確認・切り取り線の作成など） 例題文書作成→表の編集（社外文書の配置確認・表の作成、編集など）
9	Word オブジェクトを操作できる	画像・テキストボックスの入った文書作成 （ワードアート・画像・テキストボックス挿入）
10	Word 文書に合わせた画像の操作ができる	画像の入った文書作成 表の操作確認・図形の入った文書作成
11	復習 Word	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成
12	復習 PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したスライド作成
13	復習 Word・PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成・スライド作成
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストF B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスター Office2021
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント
備考	タイピング練習ソフト（MIKA TYPEほか）

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネスプレゼンテーション I		(NGM100)
講義名 (コード)	ビジネスプレゼンテーション I		(NGM100X)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	堀内 美穂	時間数	30
成績評価教員	堀内 美穂	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	人前で自分の考え、主張を述べることができる。わかりやすく言葉で人に伝える技術は、将来どのような業種の仕事についても役に立つ。
全体の内容と概要	あるテーマについて原稿を作成し何度も発表練習をする。ただの作文ではなく、聞いている人にわかりやすく、心に響くようなスピーチになるよう話し方の練習もする。
授業時間外の学修	発表練習を何度も行う。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	スピーチとは何かがわかる	スピーチが行われる場面、目的を考える。 Youtubeでスピーチのビデオを見ながらコツを学ぶ。
2	スピーチ内容の構成が理解できる	スピーチ内容の構成を学ぶ。 テーマを選んでスピーチの原稿を作成する。
3	スピーチ原稿を作成できる。	テーマに沿ったスピーチ原稿を作成する。
4	人前でスピーチができるようになる	簡単なテーマに沿ったスピーチをクラスの中で発表する。
5	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにする事ができる。	気になるニュースを調べ自分の意見をまとめる。
6	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにする事ができる。	気になるニュースを調べ自分の意見をまとめる。
7	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにする事ができる。	気になるニュースについて自分の意見をまとめたスピーチを行う。
8	分かりやすい発表説明文を作成できる。	それぞれが興味があるテーマの写真を集め、その写真についての説明文を作成する。
9	分かりやすい発表説明文を作成できる。	それぞれが興味があるテーマの写真を集め、その写真についての説明文を作成する。
10	写真を使った発表を行うことができる。	写真を見せながら短い発表を行う。 クラスメイトに評価をもらう。
11	国際問題についての発表を行うことができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ、現状・問題の原因についてまとめる。
12	国際問題についての発表を行うことができる。	問題についてのデータを検索し、グラフ等を使ってわかりやすくPPTにまとめる。 自分の意見を交えた問題の解決法を考える。
13	国際問題についての発表を行うことができる。	国際問題についての発表練習を行う。
14	まとめと解説	期末テスト プレゼンテーション発表 評価
15	まとめと解説	期末テスト プレゼンテーション発表 評価

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネス英語 I		(NKT13D)
講義名 (コード)	ビジネス英語 I A		(NKT13DA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数	30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	To gain knowledge of business concepts and ideas, as well as common language associated with business.
全体の内容と概要	Textbook work, group and individual research and projects.
授業時間外の学修	Research and preparation of projects, presentations, and essays.
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Introduction.	Introduction of class, teacher, textbook, and class expectations.
2	Can communicate background information.	Textbook Unit 1. Group introductions and discussion of backgrounds and histories.
3	Can use present simple tense.	Textbook Unit 1. Writing about current and past work experience.
4	Can communicate greetings and farewells.	Textbook Unit 1. Role play business situations using proper language and manners.
5	Can communicate company types, and activities.	Textbook Unit 2. Group discussion of industry types and future plans.
6	Can clearly communicate numbers.	Textbook Unit 2. Listening and speaking activities to practice communicating numbers.
7	Can complete business phone calls.	Textbook Unit 2. Role play business phone call situations.
8	Can communicate location and workplace.	Textbook Unit 3. Use maps and diagrams to give and follow directions.
9	Can understand and communicate addresses.	Textbook Unit 3. Use maps and diagrams to create written directions.
10	Can discuss and make group decisions.	Textbook Unit 3. Intro to business ethics, group discussion and decision making exercise.
11	Can discuss technology and functions.	Textbook Unit 4. Current event discussion of present and near future technologies.
12	Can communicate sequence.	Textbook Unit 4. Practice writing sequenced instructions for everyday tasks.
13	Final exam prep.	Final exam preparation and review.
14	Final exam.	Final exam.
15	Exam feedback.	Final exam feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	Worksheets, project materials, and group work materials.
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネス英語 I	(NKT13D)
講義名 (コード)	ビジネス英語 I B	(NKT13DB)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース / 英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数 2
授業担当者	DavidA. Robbins	時間数 30
成績評価教員	DavidA. Robbins	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For students to learn how to communicate in a business setting.
全体の内容と概要	Using the text as a work book, listening to lectures about business, and discussion times to further understanding.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework, but they will have the option of doing research out of class to improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Go over syllabus, discover English ability. First meeting communication	Orientation and introduction. English for Socialization: Chapter 4, Part 1
2	Learning to talk about personal lifestyle	Ability to talk about personal life: English for Socialization: Chapter 4, Part 5
3	Learn how to make a phone call	Learning English for the telephone: English for Socialization: Chapter 1, Part 1
4	Learn to organize your topics to discuss	Topic organization: English for Socialization: Chapter 1, Part 6
5	Learn to put together a good business letter	Writing for Business,: English for Socialization: Chapter 6, Part 1
6	Learning about write in business	Correspondence phrases for different situations: English for Socialization: Chapter 6, Part 4
7	Learning correct phrases in different situations	Writing Model Letters: English for Socialization: Chapter 6, Part 5
8	Learning good meeting habits	What makes a good meeting: English for Socialization: Chapter 3, Part 1
9	Using business meeting terms correctly	Meetings and key terms that are used: English for Socialization: Chapter 3, Part 2
10	Learning proper phrases in a discussion in a meeting	Opinions in meetings: English for Socialization: Chapter 3, Part 4
11	Understanding a good presentation	Steps for giving a good presentation: English for Socialization: Chapter 2, Part 1
12	Preparing a presentation for your listeners	Organizing a presentaton: English for Socialization: Chapter 2, Part 2
13	Understanding a successful negotiation	Negotiations: English for Socialization: Chapter 5, Part 1 and Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Communicating in Business English, Compass Publishing
参考文献・資料等	N/A
備考	N/A

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネス英語 I		(NKT13D)
講義名 (コード)	ビジネス英語ⅢC		(NKT22IC)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1/2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現、語彙を習得し、ビジネスシーンで使える英語を身につける。
全体の内容と概要	リスニング、特にスピーキングの練習を中心にコミュニケーション能力の向上を図る。
授業時間外の学修	新しい語彙・フレーズを復習し、会話文の音読練習をする。
履修上の注意事項等	クラスアクティビティに積極的に参加することが求められます。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	初対面の同僚に自己紹介ができるようになる	実際の場面を想定しながらペアで練習する。
2	ビジネスミーティングで自己紹介ができるようになる	実際の場面を想定しながらペアで練習する。
3	ゲストを同僚に紹介することができるようになる	実際の場面を想定しながらペアで練習する。
4	1～3回【挨拶】の復習	様々な場面を想定して練習する。
5	留守電にメッセージを残すことができるようになる	留守電にメッセージを残す方法を練習する。
6	電話で伝言を残すことができるようになる	電話で伝言を残す方法を練習する。
7	同僚に伝言を伝えることができるようになる	同僚に伝言を伝える方法を練習する。様々な場面を想定して適する時制を使えるようにする。
8	5～7回【電話】の復習	様々な場面を想定して練習する。
9	空港でチェックインできるようになる	空港でチェックインする方法を練習する。
10	入国審査や税関を通過できるようになる	入国審査や税関を通過する場面を練習する。
11	10～11回【海外出張編】の復習	様々な場面を想定して練習する。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Business as Usual
参考文献・資料等	英会話フレーズ大特訓ビジネス編、ゼロからスタートしごとの英会話、本当に必要な社内英語
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	マーケティング基礎 I		(NKT13V)
講義名 (コード)	マーケティング基礎 I F		(NKT13VF)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	尾崎 樹里子	時間数	30
成績評価教員	尾崎 樹里子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活や行動からマーケティングを考える/企業のマーケティング部門の仕事を知る マーケティングの仕組みや特有の言葉を理解して活動意義を探究する
全体の内容と概要	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングの本質を理解した上で、マーケティング活動の要素を学ぶ 身近な環境の中でマーケティングの要素を探究し、実習を通じて知識の理解を深める
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> 自身や、家族、友人の購買行動に関心を持つ 企業が発信している情報に関心を持ち、マーケティングの要素を発見する
履修上の注意事項等	<ul style="list-style-type: none"> 実習では積極的に行動する。チームで協力し合って活動する。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	マーケティングとは何かを理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な買い物について考えてみる ・マーケティングの定義や、歴史について学習する
2	マーケティングに関する仕事ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の中のマーケティング部門の仕事について調べてみる
3	顧客の視点の大切さを理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・「売る」ことについて考える ・消費者の行動からニーズとは何かを考え、「顧客」について理解する
4	市場調査（マーケティングリサーチ）を理解して、やり方を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・市場とは何かを知る。市場調査とはどのような時に、どのような目的のために行うか ・調査方法を学び、実際に情報を取得してみる
5	マーケティングリサーチができる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が購入した製品が属する市場を特定し、市場調査を行ってみる
6	売れるしくみについて：STPを理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・S（セグメンテーション）、T（ターゲティング）、P（ポジショニング）とは何かを学ぶ。
7	STPについて、具体例から理解を深めることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ（事例から、S,T,Pの考え方）
8	マーケティングミックスが何か理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングミックス（4P）の概要 ・製品戦略について、商品の分類、ブランディング、製品のライフサイクル
9	価格戦略、流通戦略について理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・価格戦略のアプローチについて。 ・流通戦略の種類、製品との整合性について
10	プロモーション戦略について理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション戦略 ・プロモーションの種類、効果について
11	顧客関係性について理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・CRM（顧客関係マネジメント）の重要性 ・サービスマーケティング、ダイレクトマーケティングについて
12	上田の商店街や、商店をリサーチしてまとめることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで商店街、商店についてリサーチし、取扱い商品、ターゲット、差別化ポイント、競合などをリサーチする
13	リサーチ結果をまとめて、発表できる	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでリサーチ結果をまとめ、発表する
14	前期試験	【前期試験】
15	まとめと解説	【前期試験フィードバック】 フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	夏季休暇 課題図書 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら」
参考文献・資料等	18歳からのマーケティング基礎知識、1からのマーケティング（ほか）
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	異文化理解 I		(NKT13J)
講義名 (コード)	異文化理解 I D		(NKT13JD)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	姚 海玲	時間数	30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	グローバル化が進む今日の社会で、ダイバーシティーを尊重し、国際理解を深める。
全体の内容と概要	異文化理解の概念や現存する問題などを紹介し、学生自ら考え、グループワーク、ディスカッション、発表などを行う。
授業時間外の学修	日頃からいろいろな国の学生たちと交流を持ちましょう。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	自己紹介でそれぞれの学生の文化的背景を理解する	各自白い紙に絵や文字で自分を紹介するポスターを作成、自己紹介
2	異文化理解はなぜ必要か、異文化理解とは何かを理解できる	文化とは何か、文化による差異を理解する
3	それぞれの学生の国について、地理的な面から学ぶ事ができる。	国ごとのグループに分かれそれぞれ自国について、場所（地形）、人口、気候、首都、などを発表する。
4	異文化適応について理解することができる	カルチャーショック、逆カルチャーショックの体験を話す
5	行動、視点、環境による文化の違いを体験することができる①	行動、視点、環境による文化の違いを考える。
6	行動、視点、環境による文化の違いを体験することができる②	発想の転換クイズを行い、柔軟な考え方を養う
7	イメージと固定観念について理解できる	固定観念、ファイリングという脳のはたらきを紹介し、実例とともに理解する
8	ステレオタイプが理解できる。	社会的なステレオタイプを紹介し、イメージを話し合う
9	差別について理解することができる①	差別とは何か？差別の種類、それが生まれる背景について理解する
10	差別について理解することができる②	差別の体験を話し、差別をなくすための方法を考える
11	世界各地の価値観について理解する①	価値観について、それぞれの国での考え方について話し合う。
12	世界各地の価値観について理解する②	各地の価値観についての感想と価値観の違いの実体験を話す
13	前期のまとめ	まとめ
14	まとめと解説	期末テスト発表
15	まとめと解説	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	「異文化理解入門」、その他
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	英語資格対策 I		(NKT13F)
講義名 (コード)	英語資格対策 I A		(NKT13FA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	英検2級・準1級を取得する
全体の内容と概要	文法を理解し、語彙・熟語・長文・listening・作文の練習問題に取り組む
授業時間外の学修	英単語・熟語を覚える
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	時制・態を理解できる	現在・完了形・進行形・受動態を理解し練習問題をする
2	助動詞の働きを理解できる	will/shall/can/may/must/would/shouldの基本的用法を学ぶ
3	2級・準1級の問題に挑戦し弱点を理解できる	2級の過去問題集から長文を解き自分の弱点を知る
4	長文の読み方・出題傾向を理解できる	英検長文の特徴を知り時間内に読む練習をする
5	不定詞・動名詞・分詞を理解できる	不定詞と動名詞の働きを学び慣用表現を覚える
6	listeningに慣れる	英検listeningの特徴を知り問題に取り組む
7	英検2級・準1級の単語・熟語を覚える	各級のよく出る単語・熟語を学び過去問題集の穴埋め問題をする
8	2級・準1級の問題に挑戦し達成度を判断できる	過去問題を通して自分の達成度を判断し、これからの勉強法を考える
9	関係代名詞を理解できる	関係代名詞の使い方を学び、それに関連する問題を解く
10	作文を書ける 1	文章を書く際の構成を学ぶ
11	作文を書ける 2	与えられたトピックを使って自分の意見を書いてみる
12	2級・準1級の問題に挑戦し、自分の弱点を見つけられる	listening・穴埋め・長文・作文を時間内に行う
13	期末テスト対策	期末テストに向けた復習
14	テスト	
15	テストFB	テストのまとめと解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英検2級過去問題集・英検準1級集中ゼミ
参考文献・資料等	英検2級総合対策教本・英検準1級過去問題集
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	英語資格対策 I		(NKT13F)
講義名 (コード)	英語資格対策 I B		(NKT13FB)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	英検3級以上に合格する。
全体の内容と概要	3級取得のための対策と問題に取り組む。
授業時間外の学修	「でる順パス単」から毎週50単語ずつ覚えてくる。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	単語1～50 / 時制・態が理解できるようになる	自動詞・他動詞・完了形・進行形・受動態の確認と練習問題を解く。
2	単語51～100 / 助動詞の働きが理解できるようになる	will/shall/can/ may/must/ would/ shouldの基本的用法を学びながら問題を解く。
3	単語101～150 3級の過去問題に挑戦する	3級の過去問題集からの長文を解き、自分の弱点を知る。
4	単語 151～200 / 長文の読み方や出題傾向がわかるようになる	英検長文の特徴を知り、時間内に読む練習をする。
5	単語201～250 / 不定詞・動名詞・分詞が理解できるようになる	不定詞と動名詞の働きを学び、慣用表現を覚える。
6	単語 251～300 / 英検のlisteningに慣れることができるようになる	英検listeningの特徴を知り、問題に取り組む。
7	単語301～350 / 3級の単語・熟語がわかるようになる	各級のよく出る単語・熟語を学び、過去の穴埋め問題を解く。
8	単語351～400 3級の過去問題に挑戦する	過去問題を通して自分の達成度を判断し、これからの勉強法を考える。
9	単語401～450 / 関係代名詞が理解できるようになる	関係代名詞の使い方を学び、それに関する問題を解いてみる。
10	単語451～500 / 作文の書き方が理解できるようになる 1	文章を書く際の構成を学ぶ。
11	単語501～550 / 作文の書き方が理解できるようになる 2	与えられたトピックを使って自分の意見を書いてみる。
12	単語551～600 3級の過去問題に挑戦する	listening・穴埋め・長文・作文を時間内に行う。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英検3級過去6回全問題集、英検3級でる順パス単
参考文献・資料等	Evergreen、英検3級総合対策教本
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	日本語コミュニケーション I	(NKT14D)
講義名 (コード)	日本語コミュニケーション I A	(NKT14DA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数 2
授業担当者	小須田 代吉	時間数 30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間 春学期
実務者教員	いいえ	履修区分 選択
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	細かなニュアンスを理解した上で、場面に応じて文法、語彙を使い分けコミュニケーションを図ることができるようになる
全体的内容と概要	N1の読解、聴解の対策をしていく
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	疑問詞を見つけることができる	読解：疑問提示文 聴解：情報の整理
2	疑問の答えを見つけることができる	読解：疑問提示文 聴解：敬語
3	主張表現を見つけることができる	読解：主張表現 聴解話者の心情を考える
4	筆者が何を評価しているのか読み取ることができる	読解：主張表現 聴解：漢語
5	指示語を見つけることができる	読解：指示語 聴解：予測
6	JLPT形式の問題を解くことができる	JLPT模試 JLPT模試
7	JLPT形式の問題を解くことができる	JLPT模試 F B JLPT模試 F B
8	指示語を指している言葉を説明できる	指示語 ドリル&ドリル第一回実践問題
9	下線部に書かれていない主語や対象語を探すことができる	「誰が」「何が」「何を」などを問う 第一回実践問題
10	それぞれの動作主を明確にし、文の内容を説明できる	「誰が」「何が」「何を」などを問う 第二回課題理解
11	文の前後を見て、言い換えている言葉を見つけることができる	下線部の意味を問う 第二回課題理解
12	下線部をみて、内容をつかむことができる	下線部の意味を問う 第三回課題理解
13	長文を短い時間で読み解くことができる	期末試験直前対策 期末試験直前対策
14	まとめと解説	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	完全マスター読解N1 完全マスター聴解N1
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	日本語資格対策 I		(NKT14F)
講義名 (コード)	日本語資格対策 I A		(NKT14FA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	古風な表現を使った小説や論説文、やや専門的な説明を理解できるようになる
全体的内容と概要	日常生活はもちろん交渉をしたり様々なやり取りができるような文法と語彙を学ぶ
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、登場人物やその関係を理解できるようになる 1	文法： ～つ～つ、～ともなく、～べく 語彙：第5、6回
2	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、登場人物やその関係を理解できるようになる 2	文法：～てからというもの、～ながらに、～たままでのことだ 語彙：第6、7回
3	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、登場人物やその関係を理解できるようになる 3	文法：～をものともせず、～かたわら、check 語彙：第8、9回
4	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物の心情が理解できるようになる 1	文法：～めく・～めいた、～やいなや、～ごとき 語彙：第10、11回
5	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物の心情が理解できるようになる 2	文法：～かと思いきや、～んがため、～のごとく 語彙：第12、13回
6	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物の心情が理解できるようになる 3	文法：～にして、～だに、～かねて 語彙：第14、15回
7	ファンタジー小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物の心情が理解できるようになる 4	文法：～を限りに、check、まとめの問題 語彙：第16、17回
8	やや専門的な説明を聞いて、その内容や発話者の意見が理解できるようになる 1	文法：～からいる、～にかかわる、にあつて 語彙：第18、19回
9	やや専門的な説明を聞いて、その内容や発話者の意見が理解できるようになる 2	文法：～ようによっては、check、まとめの問題 語彙：第20、21回
10	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できるようになる 1	文法：～べからず、(ただ)～のみ、がゆえ、～と相まって 語彙：第22、23回
11	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できるようになる 2	文法：～にかたくない、～としてあるまじき、～ずにはすまなかつた 語彙：第24、25回
12	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できるようになる 3	文法：～でなくてなんだろう、～極まりない、～を禁じえない 語彙：第26、27回
13	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できるようになる 4	文法：～にたる、～べくもない、～なくして 語彙：第28、29回
14	まとめと解説	試験
15	まとめと解説	試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	文法：TRY日本語能力試験N1 語彙：日本語パワードリルN1文字語彙
参考文献・資料等	
備考	